

/ ご挨拶

▼ お客様のどんなご相談も「断らない」

安住電機は、設立から半世紀近くが経ちました。私の祖父が創業し、当初はオーディオ機器を製造していましたが、時代の流れとともに、事業は電子製品の製造へと転換。現在は防犯防災機器の製造が主力となっています。

ただし、電子製品のことなら機器の種類にかかわらず、どんなご相談にもお応えしています。弊社の特徴は「断らない」。お客様のご希望に応えることができる技術対応力、小回りの良さ、チャレンジ精神があると自負しています。電子機器に関してアイデアをお持ちの方、お困りごとがあれば、何でもご相談ください。



安住電機株式会社 代表取締役社長
安住 徹

/ 経営理念

誠心誠意をもとにお客様の満足、社員の生き甲斐を育み、
地球環境の保全に努め豊かな地域社会の発展に貢献する。

#1

新しい製造技術に挑戦し、
特徴のある企業を目指す。

#2

お客様のニーズに
即対応できる組織力、
機動力の向上に努める。

#3

社員の人間成形成に助力し、
モラルの高い集団作りに
努める。

#4

健全経営で、
地元の誇りとなる
企業を目指す。



ISO に基づいた品質をお届けします

/ 会社概要

社名	安住電機株式会社
設立	昭和 47 年 10 月
所在地	〒989-2203 宮城県亘理郡山元町浅生原字館新田 45 番地
TEL	0223-37-2791
FAX	0223-37-2795
E-mail	web@azumi-denki.co.jp
資本金	3,000 万円
従業員数	約 100 名 (男性:25 名 女性:75 名)



安住電機 株式会社

Welcome to Azumi Electric Co.,LTD

採用情報はホームページを check!



〒989-2203 宮城県亘理郡山元町浅生原字館新田 45 番地
Tel:0223-37-2791 (代表) Fax:0223-37-2795

安住電機

検索

<http://www.azumi-denki.co.jp/>

実装部門

プリント基板への実装

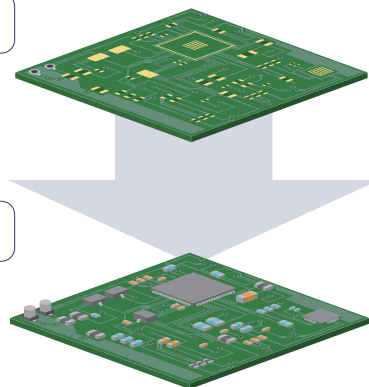
基板製造において、回路の設計図がプリントされている板をプリント基板と呼びます。この板上にはんだ付けや接着剤を利用し、部品を実装します。工程はすべて機械で行います。年々大きさが小さくなる電子部品。高密度化する基板・実装にも対応します。

プリント基板

回路の設計図が
プリントされている板

部品実装

はんだ付けや
接着剤を利用して
部品を付ける



レーザーマーキング

シリアルナンバー、バーコードをレーザーマーキングします。



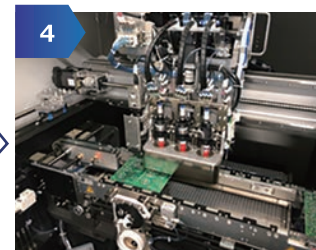
クリームはんだ印刷

プリント基板にクリーム状のはんだを印刷します。



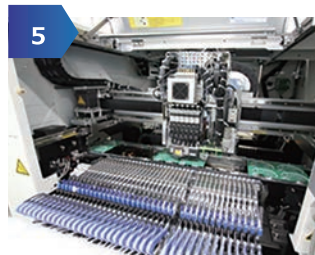
3D印刷検査機

はんだ印刷が正常にプリントされたか検査機で確認します。



接着剤塗布

ボンド塗布機を使用して、基板に接着剤を塗布し、部品を搭載していく場合もあります。



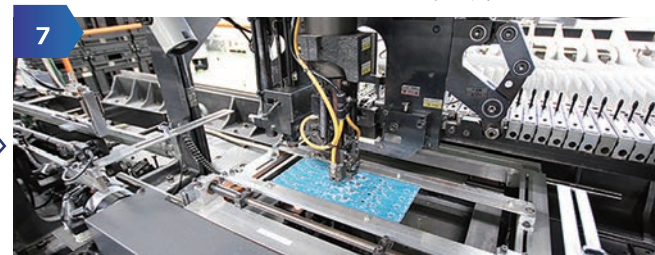
部品実装

指定された場所へ電子部品を搭載します。



リフロー炉

リフロー炉に入れ、クリームはんだを溶かしてはんだ付けを行います。

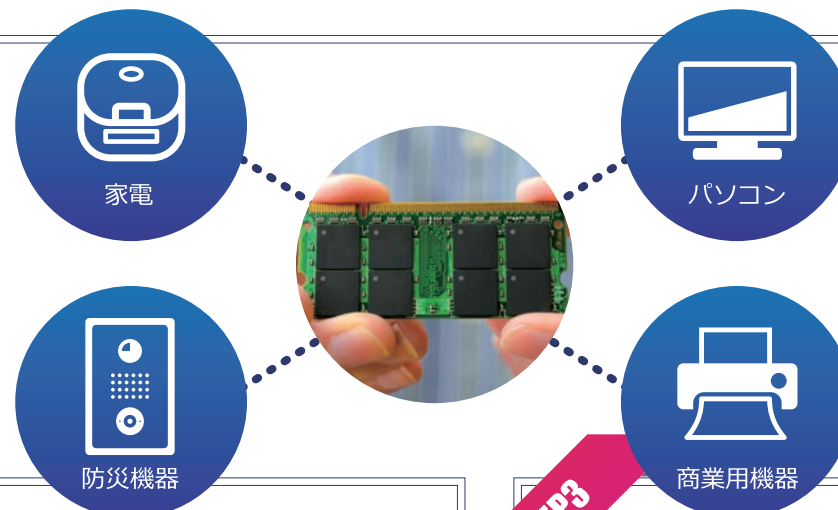


アキシャル挿入・ラジアル挿入

表面実装部品を実装済みの基板にラジアル挿入機、アキシャル挿入機でリード部品を搭載します。



あらゆる電子機器に必要な「実装基板」をつくる



基板とはスマートフォンをはじめ、あらゆる電子機器に入っている板状の部品で、集積回路（LSI）や抵抗器、コンデンサーなどの電子部品が基板の上にはんだ付けされています。安住電機株式会社は実装に特化したビジネスを展開しています。アートワーク設計、基板実装、はんだ付け、製品組立、リワークまで対応します。

製造部門

基板を機器へ内蔵・組立て・梱包
手挿しでの実装も行います

実装部門で製造した基板を機器へと内蔵し、組立て・梱包まで行うセクションです。また、機械での実装が適していなかった基板は、ここで手挿し実装後、組み立てに進みます。人の手による作業が多い「製造部門」。整理・整頓・清掃・清潔・しつけの「5S運動」を励行しています。



手挿し実装

機械によるはんだ付けに適していない部品は、手挿しで実装を行います。



フラックス塗布

はんだ付の前処理剤を塗布します。



噴流式はんだ槽

フローはんだ槽により部品をはんだ付します。



製品組み立て

電子基板を内蔵した機器を組み立て、検査を行います。

倉庫へ

品質管理部門

製品チェックを何重にも行います

電子基板に何か所でも不具合があると、電子機器は作動しません。安住電機では、高性能検査機器と熟練スタッフにより、何重にもチェックを行い、お客様の試作品や製品についても、外観検査、X線検査を承っております。



外観検査

外観検査機を用いて部品の有無やはんだ付状態のチェックをします。



フライングプローブテスト

実装部品搭載後の定数、はんだ付の良否を接触にて検査します。



X線検査

目視ができない下面電極部品のはんだ付確認はX線検査機で検査します。



拡大鏡目視

人の眼によって拡大鏡で一点一点、検査します。